

米子工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	現代文 I	
科目基礎情報							
科目番号	0002		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	総合工学科（機械システムコース）		対象学年	1			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材	『精選 国語総合 新訂版』（第一学習社）、配布プリント						
担当教員	藤本 晃嗣						
到達目標							
1.文章の語句・文法を正しく理解し、その主題・表現の特徴（論理的展開・文学的效果など）を踏まえて、文章内容を適切に読解できる。。 2.他者の意見や考えを、的確に、場合によっては多角的な視点から読み取ったり聴いたりすることが出来る。 3.自分の意見や考えを、的確な日本語表現を用いて話したり、書いたりできる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
	文章の語句・文法を正しく理解し、その主題・表現の特徴（論理的展開・文学的效果など）を踏まえて、文章内容を適切に読解し、自らの見解をもとにその意義を考察できる。		文章の語句・文法を正しく理解し、その主題・表現の特徴（論理的展開・文学的效果など）を踏まえて、文章内容を適切に読解できる。		文章の語句・文法を正しく理解できず、そのためその主題を把握できず、文章内容を適切に読解できない。		
	他者の意見や考えをもとに自己の見解を表明できる。また、グループ活動などを通して、多様な意見をまとめることができる。		他者の意見や考えをもとに自己の見解を表明できる。		他者の意見や考えをもとに自己の見解を表明できない。		
	漢字・語句を正しく使用し、自らの考えを他者が正確に理解できるよう、的確に表現できる。		漢字・語句を正しく使用し、自らの考えを他者が理解できるよう、的確に表現できる。		漢字・語句を正しく使用し、自らの考えを他者が理解できるよう、的確に表現できない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A 学習・教育到達度目標 E							
教育方法等							
概要	この講義は、本校の教育目標のうち「コミュニケーション力」を養う科目である。高等学校用教科書の『国語総合』や配布プリントなどを用いて、現代に必要とされる言語能力の基礎を培う。						
授業の進め方・方法	・高等学校用教科書の『国語総合』所載の随想・評論・小説・詩を精読する。 ・日本語表現に関するプリントをもとに、その解説を聞いた上で問題を解く。 ・一定の長さの文章を時間内に読み、問題を解く。						
注意点	・質問は休憩時間、放課後に随時受け付けるが、オフィスアワー(週3回)の時間を活用して欲しい。 ・図書館を利用して関連する本を読み、積極的に疑問を投げかけてほしい。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	修学ガイダンス（前期） 随想①		国語を学ぶ意義を理解する。前期の学習目標と内容を把握する。 随想を読み、漢字や語句を正しく理解する。		
		2週	随想② 評論速読トレーニング①		随想を読み、構成を理解する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。		
		3週	随想③ 評論速読トレーニング②		随想を読み、筆者の感じ方・考え方を把握する。 短い評論を一定の時間内で理解する力を鍛える。		
		4週	評論（1）① 評論速読トレーニング③		評論を読み、漢字や語句を正しく理解する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。		
		5週	評論（1）② 評論速読トレーニング④		評論を読み、主題と構成を理解する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。		
		6週	評論（1）③ 評論速読トレーニング⑤		評論を読み、論の展開と筆者の見解を表現する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。		
		7週	評論（1）④ これまでの学習のまとめ①		評論内容を適切に把握し、自己の見解を考察する。 これまでの学習内容を振り返り、理解を深める。		
		8週	中間試験		1～7週までの授業内容に関する試験を行い、語句の知識、読解力の定着を図る。		
	2ndQ	9週	試験解説 小説（1）①		試験内容を確認し、正しい解答とその理由を理解する。 小説を読み、漢字や語句を正しく理解する。		
		10週	小説（1）② 日本語表現トレーニング①		小説を読み、全体の構成を理解する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。		
		11週	小説（1）③ 日本語表現トレーニング②		小説を読み、物語の展開を把握し、登場人物の心情を考察する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。		
		12週	小説（1）④ 日本語表現トレーニング③		小説を読み、物語の展開を把握し、登場人物の心情を考察する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。		
		13週	小説（1）⑤ 日本語表現トレーニング④		小説を読み、物語の展開を把握し、登場人物の心情を考察する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。		

後期		14週	小説（１）⑥ 日本語表現トレーニング⑤	小説を読み、小説の主題に沿って自己の意見を表現する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		15週	小説（１）⑦ これまでの学習のまとめ②	小説についての意見を、他者と交換し、互いに評価・批評しあう。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		16週	期末試験	9～15週までの授業内容に関する試験を行い、語句の知識、読解力の定着を図る。
	3rdQ	1週	修学ガイダンス（後期） 評論（２）①	評論を読み、漢字や語句を正しく理解する。
		2週	評論（２）② 評論速読トレーニング⑥	評論を読み、論の展開と筆者の見解を把握する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。
		3週	評論（２）③ 評論速読トレーニング⑦	評論を読み、論の展開と筆者の見解を把握する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。
		4週	評論（２）④ 評論速読トレーニング⑧	評論内容を適切に把握し、自己の見解を表現する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。
		5週	評論（２）⑤ 評論速読トレーニング⑨	評論についての意見を、他者と交換し、互いに評価・批評しあう。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。
		6週	詩① 評論速読トレーニング⑩	近現代史を読み、その表現の特徴を理解する。 一定の長さの文章を時間内で理解する力を鍛える。
		7週	詩② これまでの学習のまとめ③	詩的表現が読者に与える意義を考察する。 これまでの学習内容を振り返り、理解を深める。
		8週	中間試験	1～7週までの授業内容に関する試験を行い、語句の知識、読解力の定着を図る。
	4thQ	9週	試験解説 小説（２）①	試験内容を確認し、正しい解答とその理由を理解する。 小説を読み、漢字や語句を正しく理解する。
		10週	小説（２）② 日本語表現トレーニング⑥	小説を読み、全体の構成を理解する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		11週	小説（２）③ 日本語表現トレーニング⑦	小説を読み、物語の展開を把握し、登場人物の心情を考察する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		12週	小説（２）④ 日本語表現トレーニング⑧	小説を読み、物語の展開を把握し、登場人物の心情を考察する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		13週	小説（２）⑤ 日本語表現トレーニング⑨	小説を読み、物語の展開を把握し、登場人物の心情を考察する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		14週	小説（２）⑥ 日本語表現トレーニング⑩	小説を読み、小説の主題に沿って自己の意見を表現する。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		15週	小説（２）⑦ これまでの学習のまとめ④	小説についての意見を、他者と交換し、互いに評価・批評しあう。 正確な日本語で表現する力を鍛える。
		16週	学年末試験	9～15週までの授業内容に関する試験を行い、語句の知識、読解力の定着を図る。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	1	前1,前4,前10,後9
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	1	前7,後4
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	1	前11,前12,後11,後12
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	1	前1,前9,後9
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	1	前1,前9,後9
				社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	1	前1,前9,後9
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	1	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	1	後13,後14,後15
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	1	前15
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	1	前14,前15
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	1	前13,前14
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	1	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	1	前15
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	1	後13,後14,後15
				新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	1	前15

評価割合				
	試験	提出物	小テスト	合計
総合評価割合	70	20	10	100
基礎的能力	70	20	10	100